

平成30年度第4回北杜市図書館協議会会議録

- (1) 会議名：平成30年度第4回北杜市図書館協議会
- (2) 開催日時：平成30年12月11日（金）午前9時30分～午前11時10分
- (3) 開催場所：北杜市金田一春彦記念図書館 SVホール
- (4) 出席者：協議会委員 柴山 裕子／堀内 直美／手塚正子／須田 由美子
／中山洋美
須玉中学校図書館司書 浅川 希久子
事務局 深澤 寛美L・小野 まどか・櫻井 たけ子（総務担当）／
鈴木 真由美（明野図書館）・斉木 紀恵子（むかわ図書館）
- (5) 議題：
 - (1) 平成31年度の新規事業について
 - (2) 宅配ボランティア事業について
 - (3) その他

報告：
 - (1) 新聞・雑誌アンケートの結果について
 - (2) 「みなさんのこえ！」の様式変更について
 - (3) 各図書館の近況報告について
 - (4) その他
- (6) 公開・非公開の別：公開
- (7) 該当なし
- (8) 傍聴人の数：0人
- (9) 審議内容

議題

- (1) 平成31年度の新規事業について
 - ・事務局より資料に基づき説明
 - * 金田一春彦記念図書館の地上オイルタンク設置工事
 - * 金田一春彦記念図書館 利用者用ソファ・椅子の新規購入。
 - * 図書館システムパソコン入替え事業。
 - * 金田一春彦ことばの学校第20回記念誌作成事業。

会長：提案されました事業に関して質問等ありますか。

予算額が書いてないので、どのくらいかかるかわからないので、何とも
言えないです。

事務局：予算交渉中なので入れていません。

委員：図書館システムの入れ替えは来年の9月ということですが、入れ替えの間は学校のシステムも停止になりますか。どのくらいの期間停止になりますか。

事務局：図書館システムは停止になると思うが、学校システムとの連携がストップすると思います。確認して連絡します。

会長：システムの入替え期間中は、貸し出しができなくなると思うが、どれくらいの期間になりますか。

事務局：1週間くらい閉館する予定です。システムの入替えは1日で終わるが、いろいろな調整があります。なるべく休館が重ならないようにしたいと思っています。

会長：その期間に蔵書点検をすることはできないのですか。

事務局：システムの入替えによって蔵書点検のシステムも停まってしまいます。

会長：そうすると休館日数が増えることになりますか。

事務局：いつもより1週間増えます。前はシステムの入替えで3週間かかったが、今回はそこまでかからないと思います。但し同じ業者になった場合ということになります。

会長：システムの入替えで休館し、蔵書点検でまた休館すると不便なので、そこが心配です。

事務局：利用者にとって図書館を使える期間が長いほうが良いので、その点を考慮して業者さん、図書館と話し合っけてスケジュールを決めていくつもりです。

会長：よろしくお願いします。この件以外に先程の新規事業について、何かありますか。図書館システムについては、なるべく休館日が重ならないようにお願いします。ことばの学校記念誌は、600冊とあるが配布先はどのように考えていますか。

事務局：まだ決定ではないが第20回事ことばの学校が終わってから、20回も含めて記念誌の編集を始めます。協賛や協力してくれた方や団体、ことばの学校に参加してくれた方々に配布することを想定しています。

会長：600冊というと多いと感じます。各図書館にも配布すると思いますが。

事務局：前は600冊作成しました。同数です。

会長：前回作成した記念誌は、残っていないのですか。

事務局：多少は残っています。

会長：他には質問はありませんか。新規事業の予算がわからないので妥当かどうかわかりません。

委員：参加した方というのは、当日参加した方ですか。

事務局：実行委員会で話し合われていないので、まだ未定です。

会長：記念誌の編集が第20回事ことばの学校が終わってからなので、当日には配布できないと思います。記念誌配布には送料が発生すると考えられますが。

事務局：送料は「ことばの学校」の予算から支出することになると思います。

会 長：記念誌が残ったらもったいないので、印刷数を現実的な数字でお願いしたい
と思います。

(2) 宅配ボランティア事業について

*事務局より説明

- ・宅配ボランティアは6名登録しています。内訳は大泉4名、たかね1名、長坂1名で、活動しているボランティアは大泉の1名だけで、あとは声がかかるのを待っている状況です。高齢化に伴って高齢者が増えることが予想されます。そういったなかで、宅配ボランティアは必要とされてくると思われます。先程も説明したとおり、現在は一部の地域で活動している状況です。宅配ボランティアは北杜市全域を公平にサービスを提供しなければいけないと思います。募集して申し込みがあったとして、「宅配ボランティアがいないのでサービスを提供できません」という事態は避けなければいけないと思います。現在活動している宅配ボランティアに謝礼として2,000円払っています。それはガソリン代として払っています。ボランティアが増えれば予算も確保しなければならなくなります。シーリングがかかって予算が削られている今の状況の中では、他を削らなければいけなくなります。図書館職員で宅配ボランティアについて話し合いをしましたが、結論には至りませんでした。宅配ボランティアを今後どのようにしていくべきか議論していただきたいので、議題にあげさせていただきました。

会 長：活動しているのは1名だけで、他は活動していないのでボランティアとしての意識が下がってしまうと思います。どうしたらいいのでしょうか。

委 員：現在活動しているボランティアは、年間どのくらい活動しているのですか。

事務局：長坂の仁生園に入所している方が、宅配ボランティアを月に1回利用しています。

会 長：入所している方から、本を借りたいという相談があったのですか。

事務局：どういった経緯で始ったかはわかりませんが合併前からサービスを利用しているとのことです。

会 長：ちゃんと機能していけば良いサービスだと思いますが、各地域に1名ずつボランティアがいる体制を整えてから、宅配サービスの希望者を募るのが良いと思います。活動しているボランティアは、自車で宅配しているのですか。

事務局：ガソリン代として年間2,000円の謝礼を払っています。

会 長：事故が起きた場合は、保険の対象になるのですか。

事務局：万が一事故が起きた場合は、市の活動内のことなので保険対象になります。

会 長：まずは宅配ボランティアを確保しないとできないと思います。各図書館で宅

配ボランティアの募集ポスターを貼って募集するかどうかです。大泉に4名いるが、交代で宅配しているのですか。

事務局：活動しているのは1名の方だけです。

図書館職員：むかわ図書館では「むかわ活性化会議」というのがあって一度話しをしたことがあります。グループで登録すれば宅配ボランティアができるかもしれないと意見がありましたが立ち消えになっています。図書館の利用者から車がないので宅配サービスがあればと相談を受けたことはあります。けれども規定に合致する人でないとサービスを提供できないです。

委員：利用する規程があるのですか。

事務局：規程はありますが、内規をきちんと決めてからとなっています。公共交通機関を使ってこられない方、代わりに来る方がいない方など条件的には厳しいです。条件をクリアして館長面接をしてから決定とする内容になっています。

委員：若い人が宅配ボランティアをするのは難しいと思います。民生児童委員が窓口になって宅配するのはどうか、一人暮らしの高齢者と話すきっかけに作りになればと思います。北杜市全域的にやっていくなれば、既存の組織を使うのが良いと思います。今からボランティアを募るのは難しいです。

会長：民生委員の理解を得るのはなかなか難しいと思います。ボランティアを確保するのは非常に難しいです。減っていく一方です。公共交通が少ないのは全域的に言えることだと思います。

委員：80歳以上の方と話したのですが、図書館文化が根付いていない時代を生きてきたので図書館に行ったことがないそうです。どんな本があるかとか、本を借りるとか全く解らないそうです。これから利用者を開拓していくのは難しいと思います。サービスの対象となる人は現在利用している人で、今後このサービスを必要としているかどうかです。どういった宅配サービスだったら利用できるか知る必要があると思います。今、図書館を利用している利用者聞いてみるのが良いと思います。そうしたら違うアプローチの仕方があるかもしれないです。

会長：利用者が図書館に来れなくなった場合を想定して、宅配サービスが必要かどうかニーズ調査をするのが大事だと思います。利用者が費用を負担してゆうパックなど宅急便を利用することも含めて調査するのが良いと思います。

(3) その他

報告：(1) 新聞・雑誌アンケートの結果について

*事務局より集計結果に基づき説明

232名の回答がありました。すたま図書館は回答者が少なかったが、蔵書点

検の時期と重なったためです。

会 長：アンケートが3年目となるが結果をどのように反映させていますか。

事務局：予算的なこともあり、希望する本を購入するより残す本を確認するという
ことだけで、結果を反映させることは厳しいです。そういったことを踏まえて、
アンケート調査は今後どうするか検討していかなければいけないと思います。

会 長：回答していない人も多いと思います。利用していない雑誌があるので、もっ
たいたないなと思いました。

事務局：アンケートの回答は来館者全員ではないので、あくまで参考にしていくこと
で捉えていきます。

会 長：雑誌を借りに来て、なければ他の図書館に置いてあるか探す人は、なかなか
いないと思うので「ここにはない雑誌はカウンターに相談してください」とい
うような張り紙を貼っても良いという気がします。あと週刊誌は「新刊は予
約がたくさん入っていますので、早めにお返してください」という張り紙を出
しても良いのではと思います。

事務局：貸出期間が決まっているので、その中で利用者の協力を得ていくのは課題で
はあると思います。

会 長：他にも利用者がたくさんいるんだということを意識づけしていく必要がある
と思います。今後、アンケートを実施していく場合、他館からきた雑誌も考
慮したほうが良いと思います。新聞・雑誌の配置を変える時は突然変えるの
ではなく事前告知をお願いしたいです。

(2) 「みなさんのこえ！」の様式変更について

*事務局作成の新様式に基づいて説明

・今まで内規がなかったので、新たに定めて今後は内規にそってきちんと取り
扱うことになりました。

・様式に「回答希望の有無」と「回答方法」「連絡先」を明記しました。

委 員：利用者から何かあったから決めたのですか。

事務局：今まで内規がなかったので、内規を決めて利用者きちんとした対応をする
ためです。

会 長：今まで要望があっても答えられなかったということですね。どれくらいの件
数ありましたか。

事務局：今年度は12件ありました。

会 長：ソファが汚いという意見も今年あったのですか。

事務局：それは以前にありました。厳しい意見だけではなく、職員の対応が良いとい
う意見もありました。

(3) 各図書館の近況報告について

*事務局より資料に基づき H30年7月24日～H31年1月31日までの事業報告・事業計画を説明

会長：各図書館で展示をしているが、その図書館に行かなくてもわかるかというと思います。ホームページでわかるようにしたら、利用が増えていくのではと思います。

事務局：ボランティア情報交換会でも話しが出て、その後職員が検討しました。特別な展示はホームページで知らせているが、システム上の問題があるのでどうかということ。本当にお知らせしたい情報が、他の情報を入力するとどんどん下に下がってしまうのです。ホームページを開いても目に付かなくなってしまう。システム的に問題があり結論は出ていません。システムを変えとなると経費がかかってしまいますので、そのへんは課題です。

会長：全てではなくても、図書館に来て欲しいと思うことがあったら、チラシを他の館に掲示して PR しても良いのではと思います。せっかく司書さんが一生懸命やってくれているので、その利用者しかわからないのは、もったいないと思いました。ながさか図書館で読書会を3回やっている割には参加者が少ないので、PRをしたほうが良いと思います。金田一図書館は毎回二桁の数字です。

(4) その他

事務局より連絡

*少し時期が早いかと思いますが、協議会の委員さんの任期が2年ということで、来年の3月までとなっています。引き続き協力いただける委員さんには、よろしく申し上げます。他にご推薦いただける方がいましたら、教えていただけるようお願い致します。

以上